

里仁第四

子曰、見賢思齊焉、見不賢而内自省也。

子曰わく、賢けんを見ては齊みしからんことひとを思おもい、
不賢ふけんを見ては内うちに自らみずか省かえりみる。

(4-83)

<子曰わく、賢を見ては齊しからんことを思い>

Q：「子曰わく、賢を見ては齊しからんことを思い」とは何ですか。

A：(1)「孔子が言った。すぐれた人物を見たら、自分も、その人物と同じようになりたいと思いの意。

(2)「己にまさったすぐれた人を見ては、自分もこのような人になろうと思いの意。

(3)「賢」とは、「賢人というよりは、自分よりも知徳のすぐれた人」の意。

(4)「齊」とは、「等」と同じ。

<不賢を見ては内に自ら省みる>

Q：「不賢を見ては内に自ら省みる」とは何ですか。

A：(1)「劣った人を見たら、自分にも、その人と同じような所はないか、反省してみることだ」の意。

(2)「つまらぬ人を見ては、自分もこのようではないかと反省する」の意。

(3)「内に自ら省みる」とは、自分にもかくの如きところはないかと心に反省する」の意。自省。

- ・自分よりもまさった偉い人を見ては、羨み、またはおそれ、とても自分には及びがたいとすることなく、これに倣ならい、努力して自分もまたこのような人になろうとする。
- ・自分よりも劣る人を見ては、これを嘲笑したり、責めたりしないで、自分にもこのような愚かさがありはしないかと反省せよ。
- ・孔子は、弟子たちに向かってかく教えるとともに、常に自らもかく行って、あの偉大さを成し遂げた。